

2022年5月期 第1四半期 決算概要

- 売上高は91,927百万円（前年同期比+7.2%）。企業及びパブリックセクターからBPO需要を継続的に獲得。エキスパートサービス及びキャリアソリューションにおいても需要は堅調
- 売上総利益は21,720百万円（同△2.7%）。BPOサービスにおいて前期に増加した期間限定案件が終了し粗利率が低下。販管費は事業拡大及びコロナ禍で抑制された事業活動が通常に戻りつつあるため関連費用が増加。営業利益は5,700百万円（同△21.8%）

1. 第1四半期連結業績（2021年6月1日～2021年8月31日）

（百万円）

	2021年5月期 1Q	2022年5月期 1Q	増減	増減率
売上高	85,751	91,927	+6,175	+7.2%
売上総利益 (売上比)	22,332 26.0%	21,720 23.6%	△611 △2.4pt	△2.7%
販売費及び一般管理費 (売上比)	15,044 17.5%	16,020 17.4%	+975 △0.1pt	+6.5%
営業利益 (売上比)	7,287 8.5%	5,700 6.2%	△1,587 △2.3pt	△21.8%
経常利益 (売上比)	7,357 8.6%	5,786 6.3%	△1,571 △2.3pt	△21.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (売上比)	4,064 4.7%	2,481 2.7%	△1,582 △2.0pt	△38.9%

2. セグメント別連結業績（セグメント間取引消去前）

（百万円）

	売上高	前年同期比		営業利益	前年同期比	
エキスパートサービス（人材派遣）	40,650	+2,641	+7.0%	5,021	△2,208	△30.5%
BPOサービス	34,202	+2,062	+6.4%			
HRコンサルティング、教育・研修、その他	1,926	+297	+18.3%			
グローバルソーシング（海外人材サービス）	2,056	+397	+24.0%	57	+140	-
キャリアソリューション（人材紹介、再就職支援）	3,610	+672	+22.9%	1,134	+542	+91.6%
アウトソーシング	8,513	+264	+3.2%	2,843	+662	+30.4%
ライフソリューション	1,708	+145	+9.3%	14	△27	△66.4%
地方創生ソリューション	763	+284	+59.3%	△702	△127	-
消去又は全社	△1,504	△590	-	△2,668	△569	-
合計	91,927	+6,175	+7.2%	5,700	△1,587	△21.8%

* 前連結会計年度末より、子会社再編に伴い、一部子会社のセグメント区分を変更しています。前期比については、前連結会計年度の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

主要セグメントの増減理由

エキスパートサービス	人材需要の回復の動きは前期末から継続。コロナ禍での医療領域に係る需要は、民間企業・パブリックセクター共に拡大。
BPOサービス	民間企業・パブリックセクターからの需要に対して、業務設計構築からセンターの運営、人員の配置に至る業務をグループで一括して受託できる強みを活かし、グループ連携を推進。
キャリアソリューション	企業の採用意欲が戻りつつあり求人数は前年度末を上回る水準まで回復。再就職支援事業の需要は依然として継続。
アウトソーシング	新たな健康支援サービスの展開などにより業績は堅調に推移。福利厚生事業はコロナ禍による減感はあるものの計画付近で進捗。ヘルスケア事業ではBPOサービスへのニーズが追い風。
地方創生	緊急事態宣言により一部の施設では営業休止や時短営業などの影響を受ける。兵庫県立淡路島公園アニメパーク「ニジゲンモリ」に「ドラゴンクエスト」の世界観を再現した新アトラクションをオープン。

3. 財政・投資の状況

(百万円)

	2022年5月期 1Q末	前期末比		主な増減要因
		増減	増減率	
流動資産	185,821	+76,959	+70.7%	【現金及び預金】 主に受託案件に係る一時的な 預り金により増加 【有形固定資産】 主に淡路島での新規施設関連
固定資産	43,756	+1,145	+2.7%	
資産合計	229,742	+78,100	+51.5%	
流動負債	147,685	+76,910	+108.7%	【預り金】 主に受託案件に伴う増加
固定負債	32,300	+1,213	+3.9%	
負債合計	179,985	+78,123	+76.7%	
純資産合計	49,756	△22	△0.0%	【自己資本比率】 受託案件に係る「預り金」を 控除した場合は 27.0%
自己資本比率	17.2%	△8.0pt	—	

4. 2022年5月期（2021年6月1日～2022年5月31日）連結業績予想

新型コロナウイルス感染症については、ワクチン接種が幅広い層に普及し、収束に向けて進展しているものの、感染の再拡大が繰り返されており、未だ見通しがつきにくい状態が継続しています。企業の人材需要は前期末から引き続き、緩やかに回復する動きを見せています。また、業務の生産性の向上や働き方改革、アウトソーシング化の推進など企業のBPOサービスへの需要は引き続き堅調に拡大しています。以上のことから、2021年7月15日付で公表しました「2022年5月期の連結業績予想」については据え置きます。

(百万円)

	2021年5月期 通期実績	2022年5月期予想						
		通期	増減	当期比	上期	当期比	下期	当期比
売上高	334,540	350,000	+15,459	+4.6%	171,000	+3.7%	179,000	+5.5%
営業利益	19,940	20,000	+59	+0.3%	8,500	△21.3%	11,500	+25.8%
経常利益	20,379	20,000	△379	△1.9%	8,500	△21.7%	11,500	+20.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,784	7,500	+715	+10.6%	3,500	△18.2%	4,000	+59.6%

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

5. <参考> 2022年5月期 連結業績 進捗率

(百万円)

	2022年5月期 1Q	2022年5月期 上期予想	進捗率 (%)	2022年5月期 通期予想通期計画	進捗率 (%)
売上高	91,927	171,000	53.8%	350,000	26.3%
営業利益	5,700	8,500	67.1%	20,000	28.5%
経常利益	5,786	8,500	68.1%	20,000	28.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,481	3,500	70.9%	7,500	33.1%

四半期ごとの連結業績及びセグメント別業績データは <https://www.pasonagroup.co.jp/ir/data/quarter.html> に掲載します。本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。